

法律専門職である司法書士の プロフェッショナルサービスとしての実践知の考察

—プロフェッショナルとしてのこれからの司法書士の提言—

氏 名 大田博史

指導教員 松田 憲

要旨：本論文の目的は、人口知能（AI）を含む技術革新が、法律専門職である司法書士に及ぼす影響を検討し、今後の時代に求められる司法書士のプロフェッショナルサービスと実践知を探求することである。これにより、司法書士のプロフェッションとしてのあり方を提言する。

この目的を達成するために、現代の司法書士の役割を再定義することが必要であった。本研究では、まず司法書士の歴史を振り返り、その起源から現在に至るまでの進化を考察した。次に、不動産登記制度の変遷と、それに伴う司法書士の職責および業務範囲の変化と拡大を分析する。さらに、プロフェッショナルと実践知に関する理論的枠組みを整理し、実務家としての経験に基づいた質的研究を通じて、理論から実践への応用を目指す。

また本論文では、AI と共存する現代社会における、人間特有のプロフェッショナルサービスの重要な役割に焦点を当て、専門職としての優位性を保持し発揮する方法について論じる。

最終的に、プロフェッションとしての誓いを立てることにより、司法書士は自己成長を遂げ、社会への貢献と職業の未来を切り開くことができると結論づける。

キーワード：法律専門職、司法書士、実践知、プロフェッショナル、AI と共存、
誓い